

定期健康診断受診率が算出不能から100%に向上したある企業における22年間の改善要因と健康診断成績等の調査

千葉大学大学院環境労働衛生学

能川 和浩

調査研究者

- 主任研究員

諏訪園 靖 千葉産業保健推進センター 産業保健相談員

- 共同研究者

岡 進 千葉県医師会産業保健担当理事

能川浩二 千葉産業保健推進センター 所長

上谷実礼 千葉大学大学院環境労働衛生学 講師

能川和浩 千葉大学大学院環境労働衛生学 助教

調査目的

- 20年間の産業保健活動により定期健康診断受診率算出不能から定期健康診断の全員受診と健康状況の改善を達成した企業についての活動を分析し、産業保健活動推進の要因を明らかにすること。

調査対象会社の概要

設立 1942年

事業内容

一般貨物自動車運送事業、特別詰め合せ貨物運送事業、
倉庫業、損害保険代理業

グループ会社

請負・人材派遣業、建設業、タクシー事業、不動産事業
倉庫49棟、車両387台、
4支店、4事業所、10か所に倉庫群、



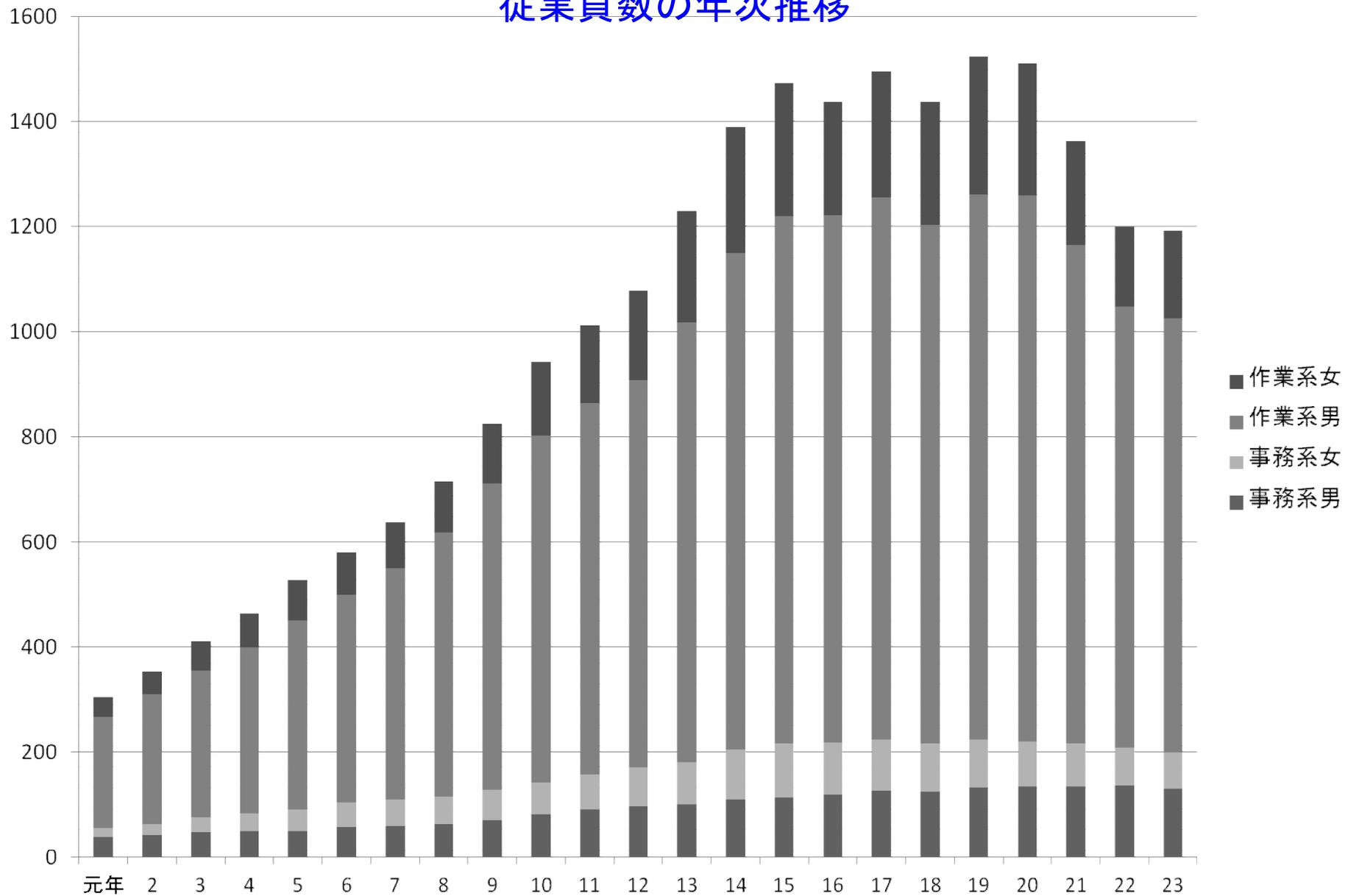
特徴

多業種、分散、不定期、不規則勤務、パート、派遣

調査方法

- 直接に関係者への面接
- 収集した資料
 - 従業員数の推移
 - 定期健康診断受診率の推移
 - 定期健康診断有所見率の推移
 - 労災事故発生件数の推移
 - 産業医面接者率

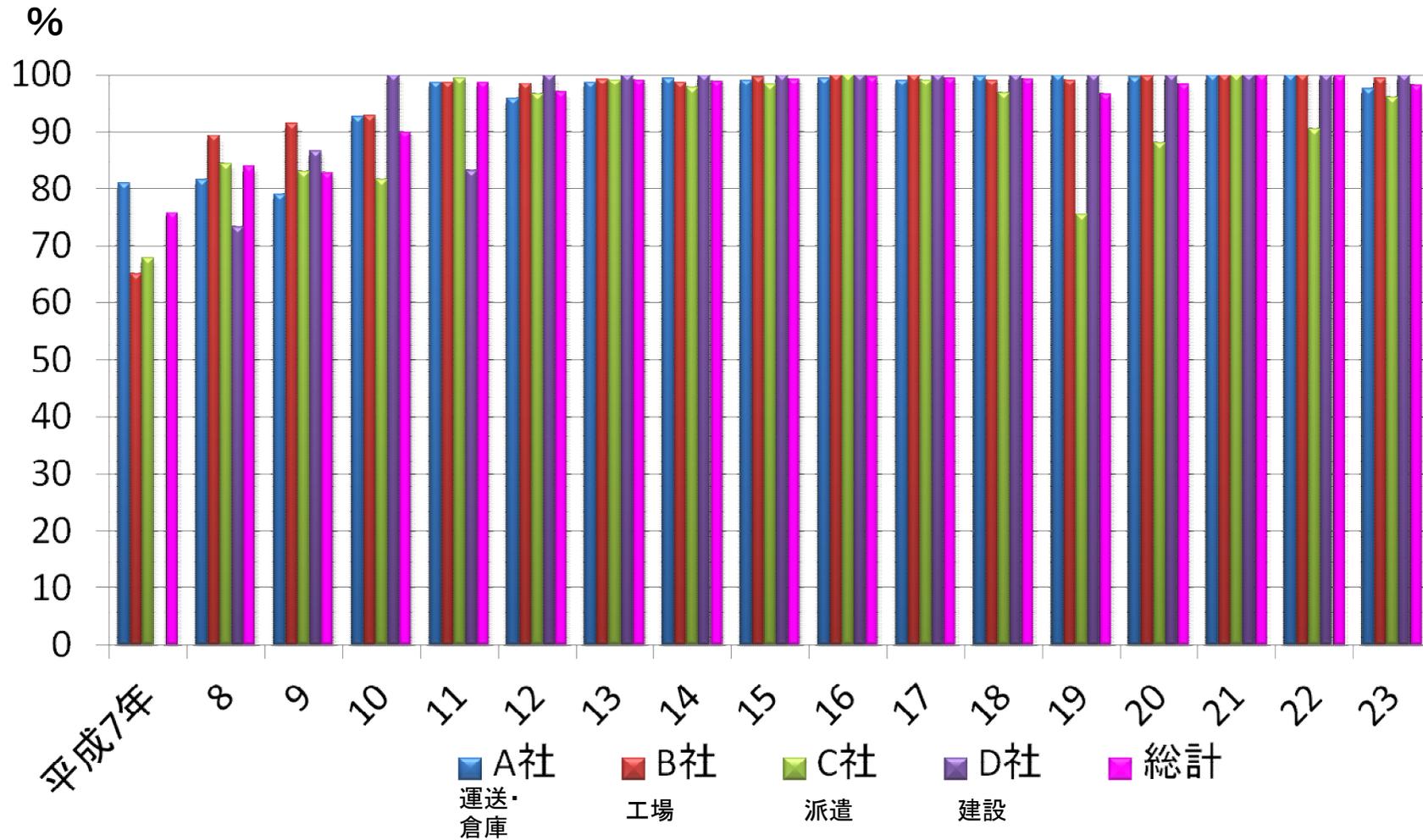
従業員数の年次推移



産業保健活動の推移

- 初期（平成元年～6年）
 - 会社幹部への産業保健活動の説明を理解（産業医と臨床医の違い）
 - 定期的な会社訪問
 - 相談者の来訪待ち
 - 副社長、支店長との面談
- 中期（平成7年～13年）
 - 安全衛生委員会の正式な発足
 - 事務体制の整備
 - 健診機関との協議による健診実施日の調整
 - 社員への受診勧奨・広報
- 後期（平成14年～現在）
 - 目標の設定（定期健診全員受診と保健指導の受診）
 - 社員への産業医利用の利点の広報

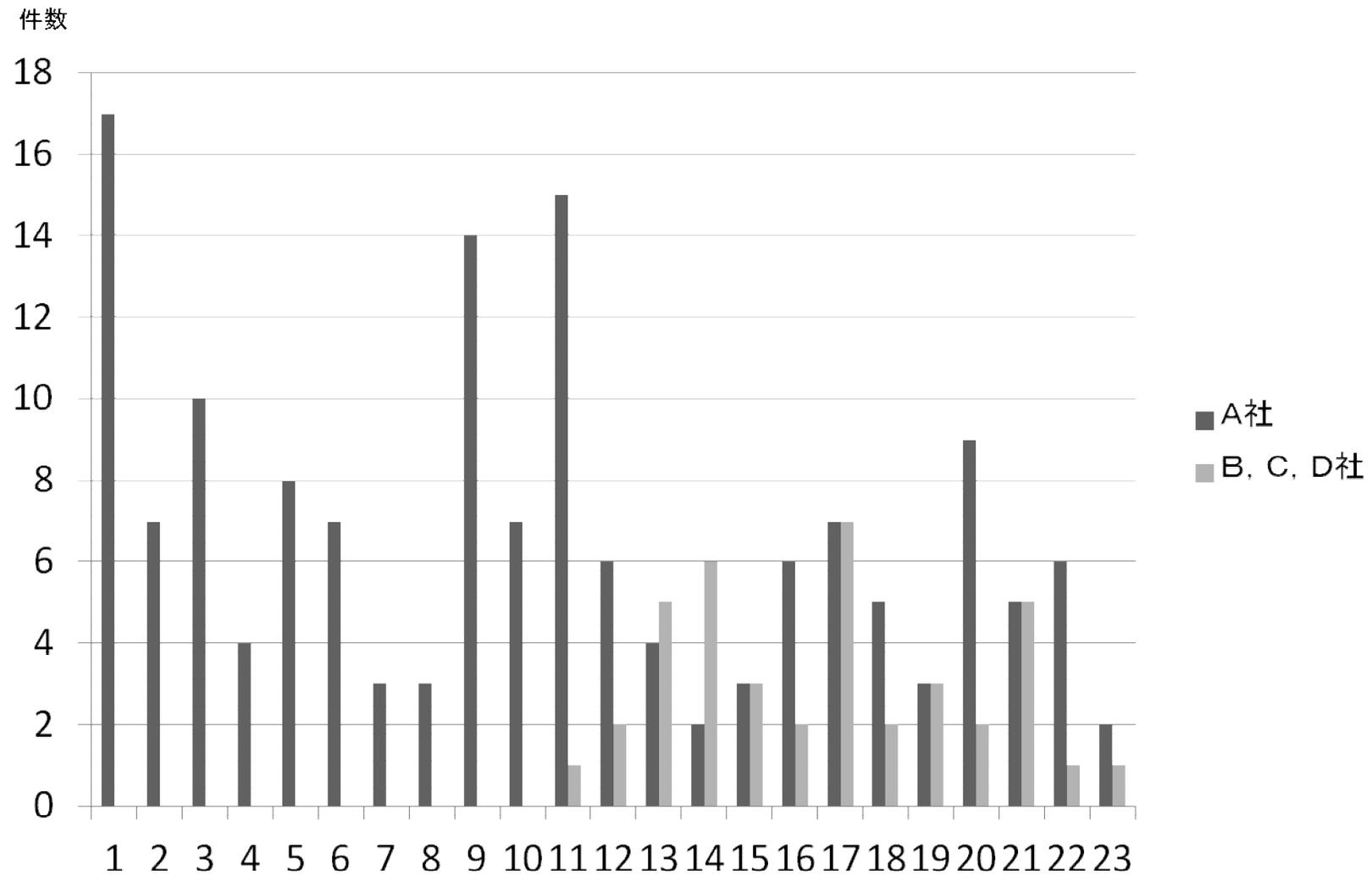
定期健康診断受診率の年次推移



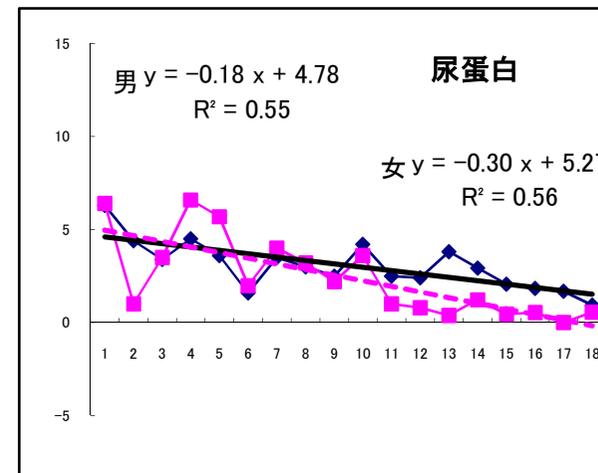
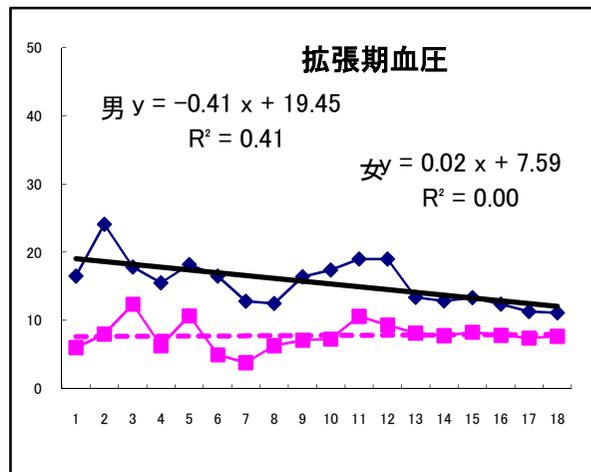
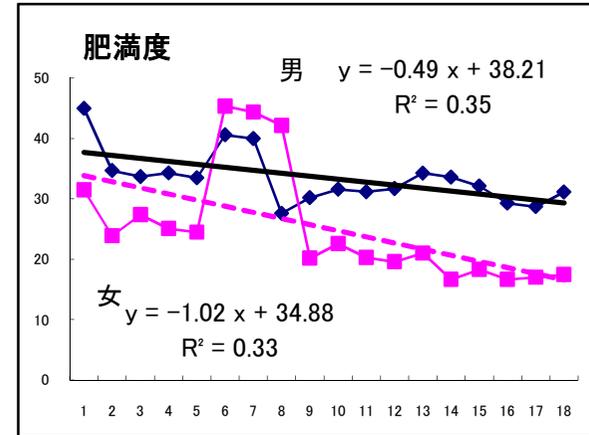
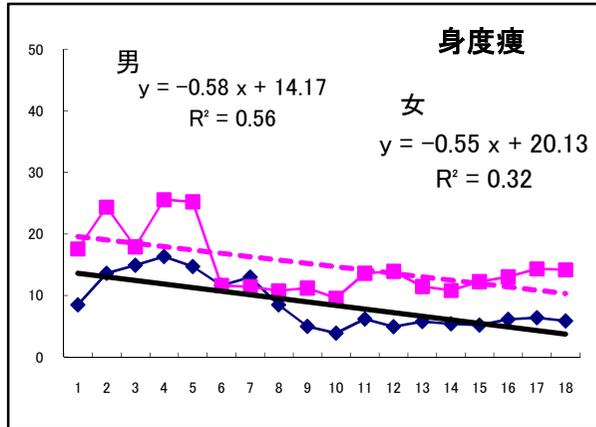
在籍者(平成7年:998人 平成23年1080人)

(平成2年—6年は受診率の算出はできない)

労災事故発生件数の年次推移



定期健診有所見率の年次推移



($R^2 > 0.22$: 有意)

定期健康診断有所見率の年次推移

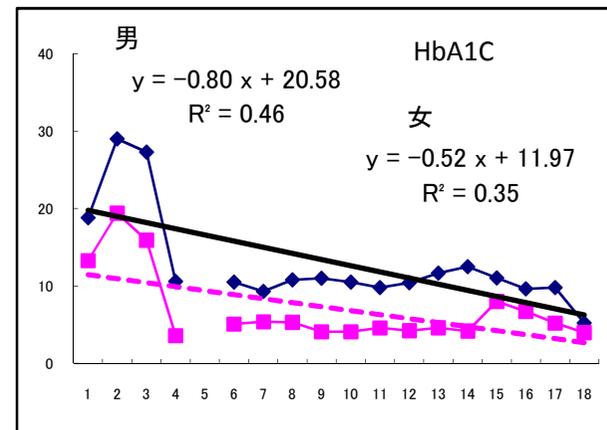
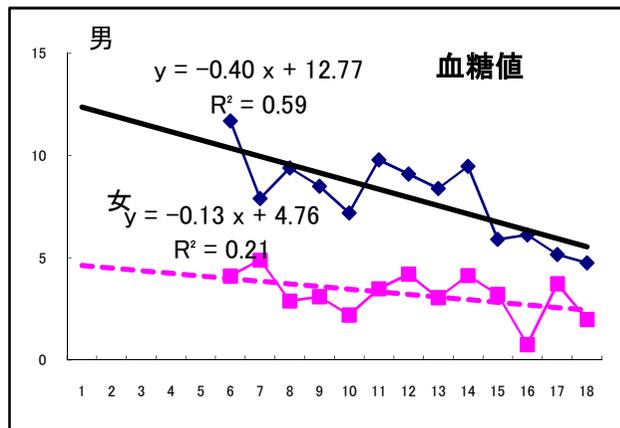
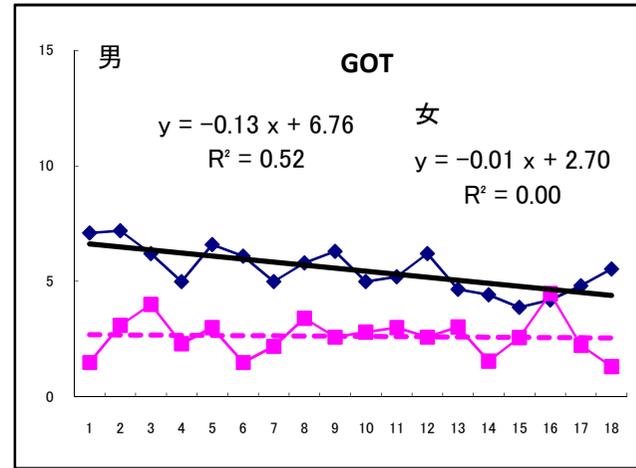
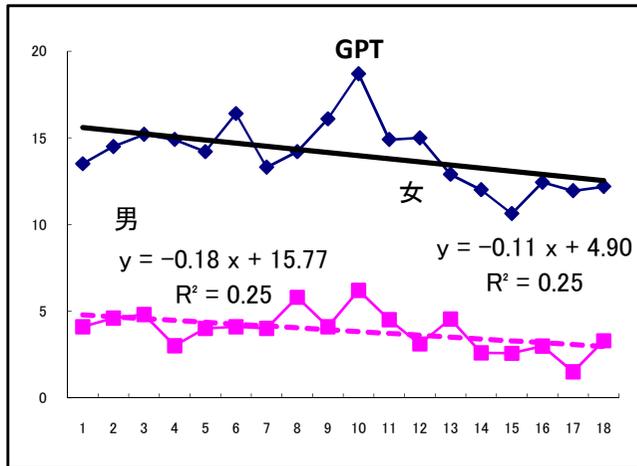
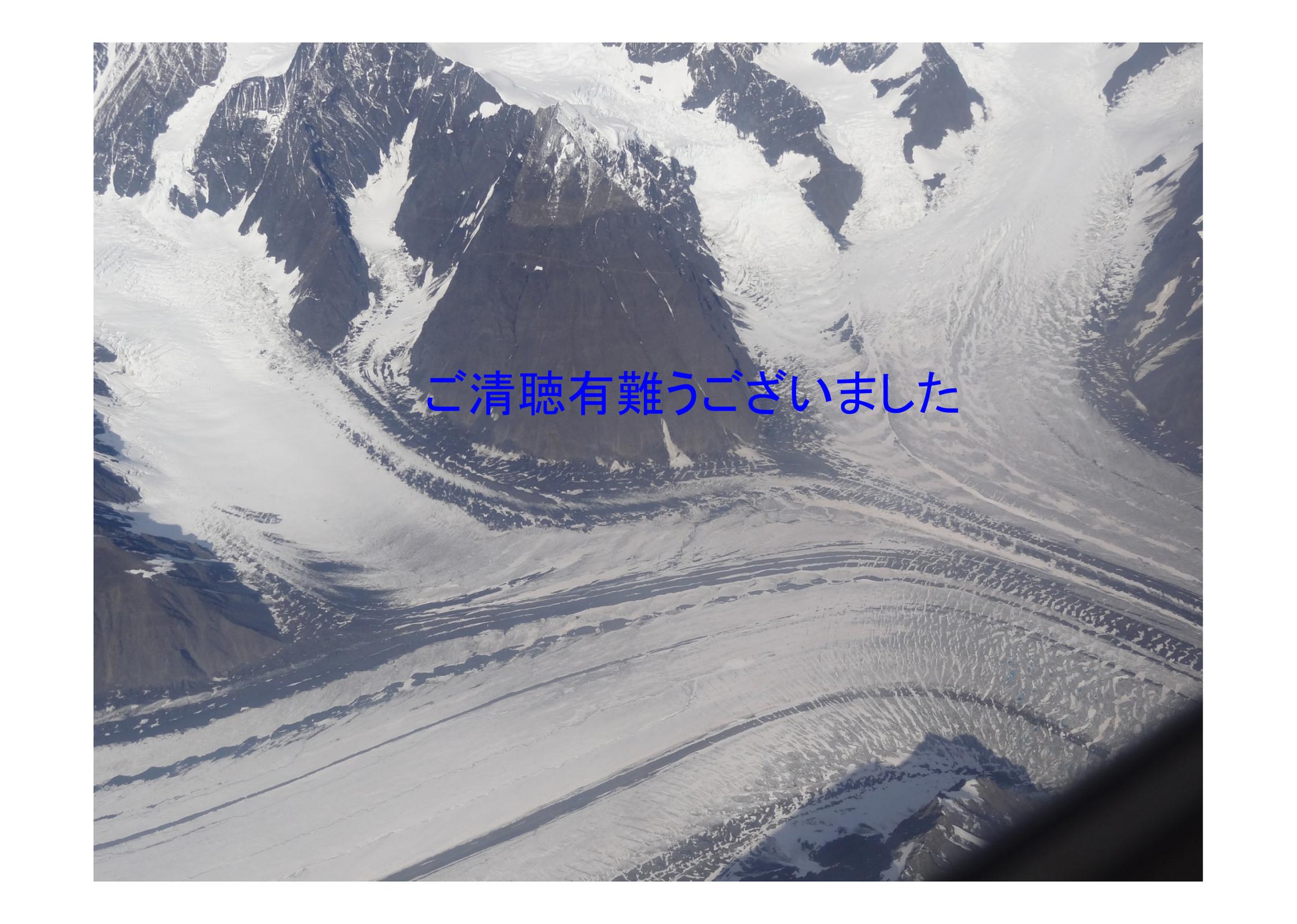


表2 平成22年度定期健康診断受診者、呼出し者、と受診率

	店所	健診受診者	呼出し者	受診者	受診率(%)
A社	A	44	2	2	100
	B	46	11	10	91
	C	127	21	14	67
	D	132	23	11	48
	E	25	7	7	100
	F	53	9	9	100
	G	166	13	13	100
	H	24	3	3	100
	I	15	3	0	0
	J	20	1	0	0
A社合計		652	93	69	74
B社	A	87	16	14	88
	B	15	3	2	67
	C	47	3	1	33
	D	222	19	19	100
B社合計		371	41	36	88
C社		6	3	3	100
D社		19	3	0	0
総計		1048	140	108	77

産業保健活動進展のための要因

- 産業医は粘りずよく長期間の活動を継続すること
- 産業は医師としての信頼を得ること
- 会社幹部、特に経営責任者は産業医学(健康管理)に対する理解の力があること
- 会社幹部に産業医を知ってもらい産業保健活動についての理解を得ること
- 安全衛生委員会の整備と適切な運営を心掛けること
- 産業保健事務を担当する社員への働きかけを重視すること

An aerial photograph of a mountain valley. The terrain is rugged, with steep slopes and a central valley floor. The image is overlaid with Japanese text in blue. The text reads "ご清聴有難うございました" (Thank you for listening).

ご清聴有難うございました